

●環境緑地学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、人と生物とが共存できる緑豊かな生活環境の創造をめざして、人格の陶冶、基礎理論に裏打ちされた思考から現場での問題を解決できる応用能力を身に付け、環境緑化及び造園業の自営者や後継者、緑化・花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与しうる行動力のある人材を養成する。

2. 教育目標

環境緑地学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 人とその生活及び自然との関わりについての豊かな知識と感性を有する者。
- (2) 単なる知識だけでなく、現場において観察、思考し、問題を解決するための応用能力を有する者。
- (3) 環境緑化・管理、造園業、環境教育及び花卉関連産業の第一線で活躍し、その発展に寄与し得る気概と行動力を有する者。

3. アドミッションポリシー

環境緑地学科では、公園、庭園、里地・里山及び自然植生などの緑地、植物・昆虫・動物、生物多様性などの自然環境分野並びに環境問題に興味・関心を持ち、時代の要請に則した、緑豊かな生活環境の創造、自然との共生を実現するために努力を惜しまず、知識・技能を身につけようとする意欲を持つ人材を求めている。

- (1) 緑豊かな生活環境創造や自然との共生に必要な動植物や生態系などの基礎知識及び実際の緑地の設計や樹木の植栽などの技能・技術を学び、修得することができる人。
- (2) 地球環境問題など現在の生活環境や景観の問題点について真剣に考え、専門的な知識、技術の修得によってそれらの改善方法を考えることができる人。
- (3) 自然環境分野並びに環境問題に興味・関心をもち、時代の要請に則した緑豊かな生活環境の創造や自然との共生を実現する意欲や態度を発揮することができる人。
- (4) 修得した専門的知識や技術・技能によって、緑豊かな生活環境の創造や自然との共生のための具体的な景観の空間設計や計画立案をすることができる人。

4. カリキュラムポリシー

環境緑地学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 緑豊かな生活環境創造に必要な基礎科学と基礎技術に関連する科目。
- (2) 緑豊かな生活環境創造に必要な関連諸知識と技術、及びそれらを応用して問題を解決する実践力を身に付けるための科目。

- (3) 設定目標の実現や問題解決のための、相手を理解・評価し、自分の考えを伝えるとともに誤りを訂正する能力（理解力、発表力、討議力）を身に付けるための科目。
- (4) 設定目標の実現や問題解決のための課題を設定し、それについて具体的に取り組み、まとめ、発表する能力を身に付けるための科目。

5. ディプロマポリシー

環境緑地学科は、「緑豊かな生活環境の創造」という基本理念の下に、環境緑化・造園、自然環境、動植物調査等の緑地環境計画・保全の専門分野における知識・技能を有し、「自然との共生」実現のための実際的な思考と応用力、行動力を持った人材の育成を目標としている。そのための目標を達成した者、すなわち以下の能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 緑豊かな生活環境創造のための緑地環境調査・計画・管理に関する専門知識や技術を修得している。
- (2) 緑豊かな生活環境創造のための緑地環境調査・計画・管理に関する諸問題を論理的に説明し、解決策を見出す能力を修得している。
- (3) 緑豊かな生活環境創造のための調査活動・計画・管理等の実践的活動における協調性と高い倫理性をもって自律的・継続的に行動する能力を修得している。
- (4) 緑豊かな生活環境創造のための実践的な調査活動、創造・管理計画に関するプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。